

三重大学大学院生物資源学研究科オープンラボ 2026

ポスターセッション発表者 一覧

『生物資源学研究科における研究活動紹介』（学生・教員）

※発表者：学生氏名（教育研究分野名：指導教員名）

※ポスター番号色：発表分野（農林・環境・生命・水圏）

※ショートプレゼンテーション発表者はポスター番号に下線有

学生ポスター

- P1. 鶏卵に透かした光の色と画像からヒナの性別を予測する
発表者：有村昭人（生産環境システム学：准教授 鈴木哲仁）
- P2. 青果物の機械的ストレスと呼吸の関係
発表者：山田大翔（応用環境情報学：教授 福島崇志）
- P3. 塩存在下で誘導される酵母 α -グルコシダーゼの発現制御機構
発表者：森田葉澄（食品発酵学：准教授 梅川碧里）
- P4. 大型藻類の利活用技術の開発 ―酵素を用いた単糖およびオリゴ糖の生産―
発表者：森田悠介（分子生物情報学：准教授 三宅英雄）
- P5. 嫌気性細菌 *Clostridium cellulovorans* が生産するアラビナン分解酵素の特徴
発表者：山中翠（分子生物情報学：准教授 三宅英雄）
- P6. 行動シミュレーションで探るニホンジカの空間利用
発表者：楠井涼（国際資源利用学：准教授 吉原佑）
- P7. 伊賀水田の窒素の動き ―有機質資材、土からイネへ―
発表者：今井咲菜（土壌圏システム学：教授 渡辺晋生）
- P8. 緑茶成分による細胞融合促進作用に関する研究
発表者：木村巴南（栄養化学：助教 栗谷健志）
- P9. 未利用資源の有効活用を目指したイロハモミジ葉のアンチエイジング作用に関する研究
発表者：中山耕史郎（栄養化学：助教 栗谷健志）
- P10. DNA の傷を無視して増える細胞の性質を調べる
発表者：高井菖汰（分子細胞生物学：教授 竹林慎一郎）
- P11. 抗菌環状ペプチド curacomycin の活性向上を目指した分子設計と合成
発表者：森田来実（創薬化学：准教授 増田裕一）
- P12. 冬虫夏草に含まれる神経突起伸長効果を示す成分の探索
発表者：奥西遥香（生物機能化学：准教授 勝崎裕隆）
- P13. 三重県より単離した酵母株のアミノ酸生産特性
発表者：鈴木春香（食品発酵学：准教授 梅川碧里）
- P14. Caffeic acid を部分構造に持つ γ -oryzanol 類縁体の合成法の検討
発表者：寺尾美良（生物機能化学：准教授 岡咲洋三）
- P15. 団粒内外の水分交換を含む黒ボク土中の水分移動について
発表者：尾崎友哉（土壌圏循環学：准教授 坂井勝）

- P16. アコヤガイ貝殻の色を決める分子機構を探る
発表者：刀祢裕矢（海洋生物化学：教授 柿沼誠）
- P17. 魚類体表に共生する微生物を活用した環境調和型魚病対策
発表者：三井康司（水圏生物工学：准教授 岡崎文美）
- P18. 好塩性細菌を細胞工場とする海洋ポジティブなバイオものづくり
ーインドネシアの未利用海藻資源からの有用物質生産ー
発表者：佐藤慎（水圏生物工学：准教授 岡崎文美）
- P19. 魚資源に依存しない有用脂質の新たな供給源をインドネシアの海に探る
ー有用脂質を蓄積する海洋微生物ラビリントラ類の探索ー
発表者：杉浦慧（水圏生物工学：准教授 岡崎文美）
- P20. ヒト腸内細菌から新たに見いだされた海藻多糖分解酵素のルーツを海に探る
発表者：原田夏芽（水圏生物工学：准教授 岡崎 文美）
- P21. 糖ヌクレオチド生合成の量的制御のメカニズム
発表者：松本駿也（食品発酵学：准教授 梅川碧里）
- P22. 三重県南部の藻場衰退海域における藻食性魚類ブダイの食性
発表者：楯郁斗（藻類学：教授 倉島彰）
- P23. 鳥羽市坂手島におけるヒジキ群落の季節消長 -10 年前と現在の比較-
発表者：寺嶋文孝（藻類学：教授 倉島彰）
- P24. 近赤外線照射が皮脂腺細胞に及ぼす光老化への影響
発表者：伊藤拓哉（水圏材料分子化学：准教授 伊藤智広）
- P25. 皮脂合成を制御するマイクロ RNA の探索
発表者：伊東怜香（水圏材料分化学：准教授 伊藤智広）
- P26. イシクラゲおよびウニ殻由来低分子化合物の小胞体ストレス緩和作用
発表者：前川真穂（水圏材料分子化学：准教授 伊藤智広）
- P27. 鳥羽市小浜町のタコ壺漁の壺に生息する魚類について
発表者：江頭蓮一（浅海増殖学（水産実験所）：教授 松田浩一）
- P28. イセエビ（*Panulirus japonicus*）稚エビ期における摂餌量と成長の関係および脱皮周期内の摂餌量変化
発表者：笠次亮佑（浅海増殖学（水産実験所）：教授 松田浩一）
- P29. イオン液体感応膜の有無とアルキル鎖長が日本酒吟醸香の QCM 応答に与える影響
発表者：加藤大貴（フードシステム学：助教 内藤啓貴）
- P30. 海岸に生息する多様な土壌動物！海岸植生で変わる土壌動物相
発表者：中山結友（森林微生物学：教授 松田陽介, 助教 北上雄大）
- P31. 三重県英虞湾におけるアコヤガイ体内外の微生物叢の網羅的解析
発表者：笹部亮介（海洋生物化学：助教 五十嵐洋治）
- P32. 三重県産緑藻ヒトエグサ養殖における現在の問題点と遺伝的多様性解析
発表者：藤本小百合（海洋生物化学：助教 五十嵐洋治）
- P33. 海藻多糖由来アルギン酸デオキシ糖（DEH）の資化性細菌分離の試み
発表者：芝 風留花（海洋微生物学：教授 田中礼士）

P34. 好氣的脱窒細菌 *Arcobacter* sp. LA11 株を用いた流動担体による養殖海水硝酸塩除去の検討

発表者：奥野恭平（海洋微生物学：教授 田中礼士）

P35. 森の生物多様性を守る『保持林業』—全部伐らない森づくりが育む土の中の線虫—

発表者：遠藤広也（森林微生物学：教授 松田陽介, 助教 北上雄大）

P36. 森を育てる「土の中の宝石」：スギの生育を支えるアーバスキュラー菌根菌

発表者：萩谷朱寿（森林微生物学：教授 松田陽介, 助教 北上雄大）

P37. 生物資源学におけるため池研究の様々な視点

発表者：上田尋斗・小平 琉太・三輪 琉輝（水資源工学：准教授 近藤雅秋）

P38. 開水路とパイプラインを併用した水田の番水システムにおける水利用機能の現地調査

発表者：石井優至（水資源工学：准教授 藤山宗）

P39. 木材の全成分を利用可能にする新たな木材糖化法の検討

発表者：杉本 夏輝（木質分子素材制御学：教授 野中寛）

P40. リグノスルホン酸塩のイオン交換処理による物性制御

発表者：伊藤真華（木質分子素材制御学：助教 徳永有希）

教員ポスター

※発表者：教員氏名（教育研究分野）

教員 P1. ため池耐震対策袋型根固め工

発表者：教授 岡島賢治（水利施設工学）

教員 P2. 海洋温暖化と豪雨の関係

発表者：准教授 万田敦昌（未来海洋予測学）

教員 P3. 水圏の糸状菌類・偽菌類の分類学的研究
農林水産業と生物多様性解明への貢献

発表者：教授 中島千晴（植物医科学）

教員 P4. オミクス解析で探る水産発酵食品の品質形成

発表者：准教授 水澤奈々美（水圏生物利用学）

教員 P5. 小さな生き物が森を動かす —菌類や線虫の不思議なはたらき—

発表者：教授 松田陽介, 助教 北上雄大（森林微生物学）

教員 P6. 海の微生物ハンティング

発表者：教授 田中礼士（海洋微生物学）

教員 P7. 地域脱炭素バイオマス研究センター

発表者：教授 野中寛（木質分子素材制御学）

教員 P8. 眼から診断するウシの健康／「新しい畜産」が拓く地域共創・共栄

発表者：准教授 鈴木哲仁（生産環境システム学）

教員 P9. 資源の限界を、科学で超える

— 食・農・水産資源の未知なる機能を拓く —

発表者：准教授 伊藤智広（水圏材料分子化学）

以 上